

授業科目	観光産業論					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	角谷 尚久						
授業概要	<p>観光産業とは、観光関連産業の総称である。各産業により事業内容は大きく異なっている。本講義においては、航空産業や旅行産業での25年以上の実務経験を活かして、まず各関連産業（旅行業/宿泊業/航空運送業/飲食業/公園・遊園地）においてその現状を具体的に俯瞰した上で、共通の経営手法や課題について学習する。</p> <p>映像を用いるとともに外部講師による講義を行う場合がある。</p> <p>本科目は講義形式にて行うがアクティブラーニングの手法を取り入れ、毎講義ごとにレスポンスシートの提出を求める。</p> <p>実務家教員として、航空産業や旅行産業での25年以上の経験を活かして、社会人になる為の意識改革、基本的実務を教授する。</p>						
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）			授業方法	対面およびオンデマンドにて授業を行う ICTを活用し、Google クラスルームによる理解促進並びに自主学習支援を行う		

学生が達成すべき行動目標

	1. 観光産業の定義を理解できる。 2. 観光産業全般、並びにそれを構成する各個別産業の特性を把握する。 3. 各産業の担う役割や経営手法を理解することができる。
標準的レベル	観光が社会に果たす役割の重要性を理解し、観光産業の現状と課題、将来への展望などを理解する。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	0	
レポート	25%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	25%	授業参画意欲

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 ○ DP2 - DP3 - DP4 ○ ナンバリング T011105J

學習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

該当部分の復習	4
---------	---

授業計画

第1回	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明
-----	---------------------------------------

	観光産業の特性と概要（Ⅰ） - ①観光とは ②観光産業の理解
第 2 回	観光産業の特性と概要（Ⅱ） - ①観光産業の種類 ②観光産業の特性
第 3 回	産業別考察 -旅行業（Ⅰ） - ①旅行業の歴史 ②旅行業の概要
第 4 回	産業別考察 -旅行業（Ⅱ） - ①旅行業の種別 ②団体旅行の変化とパッケージツアー
第 5 回	産業別考察 -旅行業（Ⅲ） - (Ondemand) ①旅行マーケットの変化 ②今後の旅行業
第 6 回	産業別考察 -航空輸送業（Ⅰ） - (Ondemand) ①航空輸送業の歴史 ②シカゴ条約
第 7 回	産業別考察 -航空輸送業（Ⅱ） - ①航空輸送業の特性 ②オープンスカイと LCC
第 8 回	中間まとめ
第 9 回	産業別考察 -宿泊業（Ⅰ） - ①旅館業法の定義 ②旅館の特徴
第 10 回	産業別考察 -宿泊業（Ⅱ） - ①ホテルの歴史 ②ホテルの特徴
第 11 回	産業別考察 -飲食業（Ⅰ） - ①食文化の違い ②フードビジネスの仕組み
第 12 回	産業別考察 -飲食業（Ⅱ） - (Ondemand) ①飲食業の産業化 ②チーンシステム概念と類型
第 13 回	産業別考察 -公園、遊園地- (外部講師) ①遊園地・テーマパークの歴史 ②総合保養地域整備法
第 14 回	まとめとテスト
テキスト	パワーポイントを使用するが、必要に応じコピーを配布する。
参考図書・教材／データベース・	『観光学基礎』(株) JTB能力開発

雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	レポート、授業への参加度を踏まえ、テスト結果とあわせて総合的に判断する。 成績発表後に評価点分布図を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	<p>観光産業とは何かを理解するために、まず「観光とは何か」について理解しておくことが必要である。</p> <p>本講義はそのような切り口からはいり、「産業としての観光」の特性や概要について学んでいく。そのためには専門用語などを事前学習すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスは授業の進行状況により変更することがありますので、予めご了承ください。 ・毎回の授業内容を復習し、次回までに専門用語の意味等を理解しておくこと。

